

令和4年度 第2回神栖市スポーツ推進審議会 会議録

日 時	令和5年2月15日(水) 15:55~16:40	場 所	神栖市役所第一委員会室
出席者	植木委員, 坂本委員, 原委員, 大塚委員, 星野委員, 米川委員, 佐藤委員, 塙委員, 高橋委員, 飯田委員, 笹本委員 (11名)		
欠席者	なし		
事務局	小貫教育部長, 佐々木次長, 新井課長, 大竹補佐, 清田主幹, 樽井主事 教育指導課: 金井指導主事		
開催形態	公開 (傍聴者なし)		
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度スポーツ推進事業計画(案)について</li> <li>・運動部活動の地域移行について [運営方針(案)]</li> </ul>		
<p>会議内容</p> <p>&lt;出席者の報告&gt; 出席者11名。規則第5条の2項により, 会議が成立。</p> <p>&lt;情報公開について&gt; 審議会の情報公開及び傍聴希望者なしの報告。</p> <p>&lt;会議録署名委員の指名&gt; 佐藤委員, 星野委員へ会議録署名委員の指名。</p> <p>○米川会長から挨拶。</p> <p>○議案第1号 令和5年度スポーツ推進事業計画(案)について 規則第5条により米川会長が議長となり, 議事を進行。 事務局より内容を説明。 委 員: 鹿行運営協議会のセカンドキャリア教育事業のなかで, 県の保健体育課と連携しながら部活動指導員実践講座をやっているが, 神栖市ではスポーツ指導者の育成・確保について, どのようにやっていくのか。 事 務 局: スポーツ協会や少年団等あるが, 市内には企業もある。また, 学校開放事業といって, 学校施設を使って活動しているスポーツ団体もあり, 指導者になってもらえないかと考えている。その際の条件などについては, アンケートやヒアリングを実施しながら, 発掘していこうと考えている。</p> <p>○報告第1号 運動部活動の地域移行について [運営方針(案)] 事務局及び教育指導課より内容を説明。 委 員: 具体的なスケジュールの概要はあるか。 事 務 局: 現時点では, 計画を立てることができていない。 委 員: モデルを絞ったら, それ以外の部活はできなかつたり, 地域によって何もしない子どもが出てきたりしないのか。話が具体的になったら早めに動いて欲しい。一番心配なのは, 何もしない子どもが出てくるのではないかと いうこと。</p>			

事務局：来年度以降も、通常の部活動は実施する。地域移行のモデルを作ることで、他の人が何もできなくなるわけではなく、土日の活動を、部活動でやるか、地域クラブに参加してやるか、ニーズに合わせて選択できるような形になる。

委員：軌道に乗るまでは、通常の部活を行いながら地域移行モデルも行う、平行して実施するイメージか。

事務局：平日は移行しないので、既存の部活動はある形。移行は、土日に関してだけである。

例えば、野球はほとんどがすでに合同チームでやっている。自校だけのチームはほとんどなく、キャッチボールするとか、部員数3～4人などという状況。このような、もともと集まって活動している種目について、試験的に地域の指導者をあてて問題点を洗い出すなど、検証してみようと計画している。

令和4年度は、次年度以降の計画作成というところで、指導員の確保、利用施設など、課題の整理が必要となるため、それぞれのロードマップ、指針案のようなものを作成し、市民の皆様一旦お知らせする。あわせて、児童、保護者の方へ、市の状況について随時情報発信していけるようにする。

国の方針も、令和7年度までにと話だったが、推進期間と若干表現が柔らかくなった。しかし、先生方の働き方改革等の問題もあるため、市としては今までの計画とおり、地域移行に向けて順次進めていこうと考えている。

委員：茨城県全体の考え方で、神栖市も一緒に動いているのか。

事務局：表現は変わったものの、国・県は、令和7年度までの移行を目指している。

また、部活動の活動時間について、平日2時間、休日3時間が目安だったのが、限度となった。地域クラブに移行したとしても守らないといけない。そういったことから、競技力向上を目指す場合はクラブチームに入るなど、子どもたちが選択してく形になるのではないかと。


#### ○その他

事務局より次のことについて報告。

- ・令和4年度神栖市海浜運動公園改修基本計画についてのパブリックコメントの実施について
- ・はさきマリンプールについて

#### ○閉 会

令和5年3月9日

委 員：佐藤 幸男 

委 員：星野 若葉 